

ポスター番号 (★: 学生)	発表タイトル	発表者	所属
P-01	ISS搭載の超高感度リム放射サウンダSMILESによる中間圏放電現象化学の観測	山田崇貴	情報通信研究機構
★P-02	GOSAT/TANSO-FTSによる成層圏オゾン濃度観測可能性の評価 – 2011年北極オゾン減少 –	関英人	千葉大学 環境リモートセンシング研究センター
P-03	大気ポテンシャル酸素の季節変動に対する南北半球間大気輸送の影響	石戸谷重之	産業技術総合研究所 環境創生研究部門
P-04	与那国島で観測されたCO <sub>2</sub> はCOVID-19の影響を捉えることができたか?	遠嶋康徳	国立環境研究所
P-05	連続観測で得られた南鳥島における大気中二酸化炭素濃度およびその安定同位体比の変動	村山 昌平	産業技術総合研究所
P-06	WRF/Chemを用いた“full-chemistry”モデルの開発: VPRMモデルによる森林起源CO <sub>2</sub> エミッションの検証	滝川雅之	海洋研究開発機構
P-07	NISMON-CO <sub>2</sub> の逆解析における任意緯度経度格子での最適化	丹羽洋介	国立環境研究所
P-08	全球メタン濃度の2020年の急増加の原因を探る—NIES観測ネットワークによるメタン濃度の時空間変動の解析—	梅澤拓	国立環境研究所
P-09	タグ付きトレーサーモデルを用いた東アジアにおける人為起源メタン排出量の検証	池田恒平	国立環境研究所
★P-10	大気境界層の水蒸気観測を利用した局地数値予報モデルの精度評価	亀井敬介	千葉大学 環境リモートセンシング研究センター
P-11	大気モニタリングに向けたVOCの測定及び校正システムの開発	斉藤拓也	国立環境研究所
P-12	地上高分解能FTIRによる太陽光吸収スペクトルからのイソプレンカラム量解析手法の研究	長濱智生	名古屋大学 宇宙地球環境研究所
★P-13	モノテルペンのオゾン分解からの二次有機エアロゾル生成機構の研究	山本慎尋	北海道大学大学院 環境科学院
P-14	trans-3-hexeneのオゾン反応におけるsCl捕獲剤の添加効果	内田里沙	日本自動車研究所
P-15	二酸化炭素分離・回収技術に使用されるエタノールアミンとオゾンの水溶液中での反応速度	藪下彰啓	九州大学
★P-16	気体NO <sub>2</sub> と凍結したKI水溶液の不均一反応	上田哲也	九州大学大学院 総合理工学府

P-17	衛星データを用いた船舶NO <sub>2</sub> の検出	中村綾乃	情報通信研究機構
P-18	富士山での火山性ガス監視システムの構築	加藤俊吾	東京都立大学
P-19	夏の所沢における PANs 全量とオゾンの連続観測と相関解析	松本淳	早稲田大学
P-20	東京における光化学オキシダント生成過程の把握に向けた 集中観測の計画	猪俣敏	国立環境研究所
P-21	Light absorbing organic aerosols at Fukue Island: comparison of filter observation and remote sensing	朱春茂	海洋研究開発機構
P-22	ICP-MS/MSを用いた大気試料の測定	岩山直樹	株式会社静環検査センター 大気環境イノベーションセンター
★P-23	SPES法に基づく非水溶性エアロゾルのオフライン分析法の評価	川中子ひかる	名古屋大学大学院 環境学研究科
★P-24	福江島と名古屋の大気エアロゾルの化学組成と活性酸素産生能力	小野詩織	名古屋大学大学院 環境学研究科
P-25	ヘリコプターを利用した富山県上空の過酸化水素およびホルムアルデヒド濃度の測定	渡辺幸一	富山県立大学
P-26	COVID-19による東京近郊の大気汚染への影響評価	藤縄環	国立環境研究所
★P-27	日本4地点における地上リモートセンシングで得られたエアロゾル光学特性による地表付近PM <sub>2.5</sub> 、BC濃度の変動解析	海塚収英	千葉大学 環境リモートセンシング研究センター
P-28	北インドにおける低コストで自動データ転送する小型大気観測装置の30個の展開: Aakashプロジェクト	松見豊	名古屋大学 宇宙地球環境研究所
P-29	COALA-2020観測においてオーストラリアで採取した大気エアロゾル試料の化学分析	持田陸宏	名古屋大学 宇宙地球環境研究所
P-30	海洋地球研究船「みらい」による 広域の海洋大気微小エアロゾル観測	宮川拓真	海洋研究開発機構
P-31	海洋表層の基礎生産力への大気物質の影響: 現場観測による湿性沈着の効果検証	竹谷文一	海洋研究開発機構